

中国自然歩道 金剛童子跡

藪の中で、金剛童子を祀る神社がむかしあった場所は、石の土台と柱の基盤をたよりに見つけることができる。建創時期は不明だが、13 世紀後半の民話に登場することから、恐らく火事または洪水で倒壊するまで、少なくとも 600 年間はここに建っていたことがわかる。なんとか形を残しているヴァジュラクマール（Vajrakumāra、サンスクリット語）は密教の神のひとつである。

江戸中期（1603 年 - 1867 年）には、金剛童子は寺院で 5 月 24 日に行われる春まつり中に七か所で儀式が執り行われていたうちのひとつであった。釈迦堂跡と同様に、最終的には 19 世紀中頃に大山寺境内から離れた場所に再建された。